

平成 28 年度
教科に関する科目
国 語

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、試験問題の内容を見てはいけません。
2. 問題は 2 問とも解答してください。
3. 解答用紙は、1 問につき 1 枚（表のみ）使用してください。
4. 受験番号, 氏名を解答用紙の指定された欄に 2 枚とも必ず記入してください。
5. この試験の解答時間は、「始め。」の合図があってから 60 分です。
6. 試験が終わるまで退出できません。
7. 「やめ。」の合図があったら、直ちにやめてください。
8. 下書きには、問題冊子の余白を使用してください。
9. 試験終了後、問題冊子を必ず持ち帰ってください。

問 1

次に示した「記念」は、小学校 6 年生を対象にした国語科書写の毛筆教材である。「小学校学習指導要領」(平成 20 年文部科学省告示第 27 号)「第 2 章 第 1 節 国語」〔第 3 学年及び第 4 学年〕〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕「(2) 書写に関する次の事項について指導する。」の「ア 文字の組立て方を理解し、形を整えて書くこと。」「ウ 点画の種類を理解するとともに、毛筆を使用して筆圧などに注意して書くこと。」及び〔第 5 学年及び第 6 学年〕〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕「(2) 書写に関する次の事項について指導する。」の「ウ 毛筆を使用して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書くこと。」をふまえ、指導目標を設定し(毛筆教材「記念」に記した①～⑧の点画名は必ず触れること)、授業における指導上の留意点について、句読点・記号も含め 600 字以内で述べなさい。(540 字を下回らないこと。また、解答欄への記述に際して、段落を設ける必要はない。)



問 2

説明的な文章の解釈に関する指導について、「小学校学習指導要領」（平成 20 年文部科学省告示第 27 号）の「第 2 章 第 1 節 国語」では、どのような指導事項を示しているか。小学校低学年，中学年，高学年のそれを述べた後，小学校高学年の指導上の留意点について，句読点・記号も含め 600 字以内で述べなさい。（540 字を下回らないこと。また，解答欄への記述に際して，段落を設ける必要はない。）